

## アサヒグループ食品アマノ事業本部、 通販で春季限定 FD4 品発売

アサヒグループ食品のアマノ事業本部は、フリーズドライ (FD) 製法の春季限定商品「桜えびとキャベツの白みそ汁」「あさりとみつばの赤だし」「春のにゅうめん・桜えびが香るえびだし仕立て」「桜えびと筍の炊き込みご飯の素」の4品を通信販売限定で1月27日発売した。

毎年季節ごとに展開している限定商品は、FD製法により、具材の素材そのものの味、香り、色の良さを実感することができ、旬の味わいを家庭で手軽に楽しめることから人気商品となっている。

「桜えびとキャベツの白みそ汁」(写真(左))は、具材に桜エビ、キャベツ、タケノコを入れ、甘みのある白味噌を使用することで桜エビとキャベツの彩りが映え、桜エビの香ばしい風味、うまみを引き出している。「あさりとみつばの赤だし」(写真(右))は、具材にアサリと三つ葉を、味噌は赤味噌を使用することで、アサリのうまみと赤だしの奥深い味わいが楽しめる。販売形態は、2種×3食入りのアソートセットとそれぞれの単品6食入りで販売価格は900円(税別)となっている。

「春のにゅうめん・桜えびが香るえびだし仕立て」は、具材にそうめん、キャベツ、鶏卵、桜エビ、タケノコ、野菜を入れた、春を彩る汁わんで、桜エビが香る、エビだし仕立ての味わいが楽しめる。販売形態は、4食入り880円(税別)。

「桜えびと筍の炊き込みご飯の素」は、具材の桜エビのうまみと国産タケノコの食感が楽しめる。具材の下ごしらえなどの準備が必要なく、コメ2合と一緒に炊飯器で炊くだけで簡単に旬の味わいの炊き込みご飯を作ることができる。販売形態は2合用×2袋入りで1300円(税別)。

4品とも1月27日からアマノフーズ公式通販サイトなどで通信販売限定商品として販売している。

(日本食糧新聞社 <http://news.nissyoku.co.jp/> より)



### 書籍『非常食』

日本食糧新聞社から好評発売中!

- A5判・116頁
- 定価：本体1,620円(税込)

### 書籍『非常食』【PDFバージョン】

[http://www.center-net.jp/sale\\_detail/36](http://www.center-net.jp/sale_detail/36)  
で発売中!

- 容量：約65MB
- 定価：360円(税込)

非常食検索サイトはこちら

<http://center-net.jp/hijyoushoku>  
・各社の通販サイトへリンク・注文できます



書籍、e-bookの販売サイトが出来ました!どうぞご利用ください。

<http://www.center-net.jp/sales>

## コカ・コーラシステム、アプリ対応自販機で新サービス開始

コカ・コーラシステムは今春、自動販売機で新たなサービスを提供する。スマートフォンアプリをダウンロードした消費者が、アプリ対応のコカ・コーラ自販機で製品を購入すると、製品の種類やサイズにかかわらず、1本につき1スタンプが付与され、15スタンプを集めると同自販機で好きな製品を1本無料交換するロイヤリティプログラムを開始する。アプリ対応の自販機は、初年度14万台の設置を目標とする。

コカ・コーラシステムでは、自販機を店舗と位置付け、サービスを展開している。同自販機を展開するに当たって、カードを使用するロイヤリティプログラムを一部の自販機で展開。その結果、同プログラムが消費者から好評であることを受けて、今回、カードに加え専用のアプリを開発するとともに、全国プログラムに拡大して取り組むこととした。同プログラム専用開発したスマートフォンアプリは、iOS、Androidに対応する。設置場所は、同アプリ内で案内していく。

今後も自販機ならではのサービスを体験できるよう、自販機の付加価値の進化を図っていく構えだ。

(日本食糧新聞社 <http://news.nissyoku.co.jp/> より)

## キリンググループ「絆プロジェクト」で 気仙沼を支援 付加価値品で復興

キリンググループによる東日本大震災の被災地に対する「復興応援 キリン絆プロジェクト」の一環である「気仙沼水産資源活用研究会(kesemo)」は2月4日、東京・浅草のまるごとこぼんで商品発表会を行った。

菅原茂気仙沼市長はあいさつで「“人づくり”こそが被災地の復興と未来想像の鍵を握る。特別な技術を使った付加価値商品で高収益の産業をつくり若者を気仙沼に呼び戻したい」と狙いを語り、「まだ生まれたばかりの状態。外部からのアドバイスをいただき共に育てていきたい。生みの親であるキリンをはじめとする皆さまのご支援に感謝している」と謝意を示した。

研究会メンバーが、サメを使った化粧水「フ

カカラーゲンミスト」と美容液の「同ジェル」のほか、三陸沖のホヤで作った調味料の「気仙沼ホヤソース」、ワカメを使った「MARUGOTO三陸わかめドレッシング」などを紹介した後、試食を行った。

キリンググループから出席した林田昌也キリン執行役員 CSV本部 CSV推進部長は記者の質問に答え「絆プロジェクトによって、気仙沼以外にも新しい価値を持った商品が生まれている」と経過を報告した上で、「大手流通やチェーン料飲店などのマッチングを手助けし、最大の課題である販路の開拓と拡大に貢献したい」と意気込みを述べた。

来賓として長島忠美復興副大臣、小野寺五典衆議院議員があいさつした。

(日本食糧新聞社 <http://news.nissyoku.co.jp/> より)

## みんなの twitter 広場

楽天マラソン始まって！こういうタイミングに非常用品をちょこちょこ買い集めて。非常食追加しておこうφ(...)

@yurairo1126 さんより  
19:05 - 2016年2月7日

本当ね、自然災害こわい。こればかりは防げないからな…被害を最小限にする為に何が出来るのか、いざという時にどうすべきなのか、ということ常日頃頭頭に置かなくては。被災した身でもたんだんに防災意識薄れていくから今一度見直そう。

@yumA\_214 さんより  
20:03 - 2016年2月5日

(地震に慣れていると冷静に行動ができる、という)意味じゃ、消防とか防災の施設で地震体験しておくことは重要なんじゃないかと思うよ。震度7を事前に体験してるかどうかで、今後の生活意識も大きく変わるのでないかと思う。小学校や中学校で、起震車呼んで全員に体験させるというのも意義があるんじゃないか?

@ookami1910 さんより  
15:35 - 2016年2月4日

台湾の地震、結局のところ鉄骨入ってないコンクリビル倒壊しかニュースになってないし、募金どうこうより災害気にはず旅行行くのがベストって気がするね。(風評被害防止も兼ねて)

@kurominion さんより  
21:28 - 2016年2月7日

